



やまくら～ズチャレンジ企画



激走!!秋の阿蘇路全力疾走～ 熊本 – 阿蘇青年の家 44km チャリ記録 ～

朝晩の冷え込みが強く、スポーツの秋も終わりのようです。なんか青年部でしょうかと考えていたんだけど、何の企画も出てきませんでした。そこで編集者のわたくし単独チャレンジということで、阿蘇青年の家までチャリで行くことにしました。# お馬鹿ね…。

やまくら～ズ型 プロジェクトX ～激走!!秋の阿蘇路全力疾走!!ママチャリで挑む編集者S～
2005年、法人化二年目に挑む教職員達。そんななか、青年層への情報発信を目標にひとつの機関紙「やまくら～ズ」が生まれた。賃金の問題や超過勤務、今後の青年層へ関係することをみんな
で考えたいという気持ちで13号発行されていた。順風満帆のように思われた「やまくら～ズ」。しかし、彼の前に「ネタ切れ」という事実が立ち塞がった。責任を感じたSはひとつの情報を耳にした。職員ラグビー部の合宿だった。「青年の家で合宿するけどSはどうする」。職員ラグビー部に所属していたS。しかし、愛車を3月に廃車にしているSには、阿蘇は遠い…。しかし、Sは考えた。「俺にはこれしかない」。やまくら～ズ再建を賭け、Sはチャリで阿蘇へ挑むことを決意した。

「風の中のすばる～、砂の中の銀河～、みんな何処へ行った～ ……」

集合が10時半のため、朝5時40分に家を出た。小雨降る朝方、チャリの準備をしたS。しかし、チャリは俗に言う「ママチャリ」しかも変速機なしのノーマル。無謀だった…。家を出て国体道路を大津方面へひたすら走る。あたりは車の往来も少なく、ひたすらチャリのライトの発電



偉業達成する伝説のチャリ

機音がしているだけだった。阿蘇大橋の近くまでは上りと車の危険度を考え下道に行く。それから57号線へ合流。ここで7時である。そして立野の坂、甘く見ていた…。まだ半分、もう心は折れそうだった…。応援を欲しく感じた。しかし、ママチャリに乗っていることもあり、誰も熊本からチャリを漕いでいるとは思わず、ただのジモピー(地元人)としか思われていない。地味に続く上り坂を寂しく、ひたすらペダルを漕ぐ。この企画を成功させるためにSは漕いだ。



立野で食べた朝食

～ ページの関係で中略だけど、つらい思いを共有しながら感動のフィナーレへ～

9時、阿蘇青年の家に着いた。ラグビー部皆が笑った。Sはみんなの笑顔に救われた。

皆は青年の家に泊まることとなるのだが、Sは翌日工学部祭で出勤しなければならないため、15時40分、練習を早上がり。そのままとんぼ帰り。下りではあるが、また同じ距離を漕がなければならない。また心が折れかけた。家に着いたのは17時40分だった。そのままシャワーを浴び深い眠りに就く。明日は工学部祭だ…。# 心の折れた(チャリを押しした)回数 3回



感動のゴール

走行距離:片道約44km (MapFan調べ) ラグビー練習時間 2時間半

「ヘッドライト・テールライト 旅はまだ終わらない～ ヘッドライト・テールライト ……」

次回のやまくら～ズ型 プロジェクトXは、しばらくお休みします。

次回の主役はあなただ!!!

やってみたい人、連絡頂戴ね。

熊本大学教職員組合青年部機関紙

やまくら～ズ 発行 No.14 2005/11/7